

◆ ブラジルでの任期も後半に突入しました

富山のみなさん、こんにちは。第3アリアンサでの生活も7ヶ月が経過しました。10月には連休もあり、リフレッシュを兼ねて仲間たちとブラジル観光をしました。ブラジルはとても広く、そして素晴らしい場所がたくさんあります。日本にいる時は「ブラジル=リオのカーニバル」というイメージしかありませんでしたが、リオはブラジルの素晴らしい場所のほんの一部だと思います。残りの4ヶ月の任期で、できるだけ多くの場所を訪れ、様々なものを吸収したいです。

10月はまたもや体調不良からスタートした月でした。前回の体調不良を機に体調管理には十分に気をつけていたつもりでしたが、気温の急な変化があるこのブラジルの気候に慣れるにはもう少し時間がかかるような気がします。

日本語学校では、ひたすら基礎の繰り返しです。基礎の反復練習は教える側の私にとっても、教えられる側にとっても毎回楽しいだけの授業ではありません。しかし、そこを何とか乗り越えてくれればその後の学習はスムーズに進むはずなので、できるだけ様々な方法を用いながら取り組んでいます。9月から夜間に開講している大人の日本語クラスも順調です。このクラスでは日本語を教えると同時に、ポルトガル語も単語程度ですが、生徒から教わっています。しかし、本職の英語に比べるとポルトガル語はとても難しく、いつもめげそうになります。少しでもポルトガル語を上達させて日本に戻りたいものです。それでは、今月あったことを写真と共に紹介していきます。

◆ 教師の日 10月15日(日)

ブラジルには「教師の日」という祝日があります。ブラジルに来て初めてこの記念日の存在を知りました。インターネットで調べてみると、どうやらこの祝日はブラジルに限ったものではなく、世界各国にある日でした。ユネスコは1994年に毎年10月5日を「世界教師デー」と定めたそうです。日本にはない祝日なので、凄く新鮮な感じがしました。

お隣の第1アリアンサでは、この「教師の日」と12日の「こどもの日」に合わせて夕食会が開催されました。プレゼントをもらった子どもたちはとても嬉しそうな表情をしており、記念日毎にこのように村で行事を開催するのはとても素敵なことだと感じました。

後日になりますが、第3アリアンサの方々から「教師の日」のプレゼントをいただきました。ブラジルと日本をモチーフにしたハートマークと私の名前が大きく入っているデザインのバスタオルです。非常に使うのがもったいないので、大切に飾ろうかと思えます。



◆ JICA 中間発表会 10月22日（日）～27日（金）

10月末になりますが、サンパウロ市内で開催された JICA ボランティア全体の中間発表会に参加しました。

この研修会にはブラジル全体に派遣されているボランティア約 80 名が参加しており、私のような「日系日本語教師」の職種に加え、野球を指導する「野球隊員」、ソフトボールを指導する「ソフトボール隊員」、様々な活動を提案する「青少年活動隊員」、介護や料理を指導する隊員もおられます。みなさん、ブラジルのいたるところで活動しておられ、一番遠い方では研修のための移動だけでも1日近くかかる方もおられます。

この研修のメインは、昨年度に派遣された長期派遣隊員の中間報告でした。それぞれの隊員が、これまでの1年間の活動を振り返り、楽しかったことだけでなく、困難に対してのアプローチを発表しておられました。

私も発表の機会を与えていただき、これまでの活動を発表させていただきました。まだ任期が半分を過ぎたばかりで、多くを語ることはできませんでしたが、ボランティア全体の前で自分の考えを伝えることができたのは良い経験となりました。

